

黎明だより



9月定例会にて

令和元年9月定例会が、9月6日〜26日まで開催されました。私は、13日に3期目最初の一般質問に登壇しました。傍聴に来てくださいました皆さん、ありがとうございます。今回は、

- ・クールシェアについて
- ・河川について
- ・県が開発した農産物についての3つを質問しました。

今年の夏は、お盆の時期に40℃近くの気温を観測し、集中豪雨などもありました。そこで、県が進める省エネの施策、集中豪雨による河川の氾濫防止の施策、急激に変化する気候に対応した農作物の開発といった「気候の変動」に関連する項目について、私の考えと地元の声を基に質問をしました。

クールシェアとは
家族それぞれが自分の部屋で冷房を使うのではなく、冷房を消してみんなで外に出かけることで、消費電力を抑える取り組みです。

いしかわクールシェアのパンフレット（一部）

おうちでクールシェア
ご近所でクールシェア
自然でクールシェア
まちでクールシェア

例えば3台のエアコンをつけていたら2台を止め、1部屋に集まり家族団らん過ごそう。

自宅のエアコンを止め、ご近所のお宅に集まってご近所同士のコミュニティを深めよう。

木陰や水辺といった、自然が多く涼しい場所に行き、ゆったりとした時間を過ごそう。

図書館などの公共施設や商店街・カフェなど、身近で涼しい場所が集まって、楽しい時間を過ごそう。

環境省 HP でのクールシェアの説明



石川酒68号の名称募集チラシ

県が開発した農産物について
県が開発した酒米「石川酒68号」の名前の募集が夏に行われていました。これは、全国的に有名な「山田錦」に代わる酒米というコンセプトで11年かけて開発された酒米で、今年度中に名称が決まって、来年春にこの酒米を使った日本酒がデビューします。この酒米開発が、美味しい石川県の日本酒が作られる契機になってほしいというものです。

また、最近の急激な気候の変化を考えると、これから県で開発する農産物の方向性を定めるのは難しいのではないかと思いましたが、

○石川酒68号への期待と今後の展開の方針は？

●ここ10年で開発された同じコンセプトの酒米と差別化を図ることが重要なので、マーケティング専門家などからなる委員会を設置し、販売や差別化の戦略の意見をいただいている。また、首都圏へのPRにも取り組んでいる。県民に愛され県を代表する酒米になるようにブランディング・イメージの確立に取り組んでいきたい。

○石川県がこれから進めていく農産物の開発について、知事の期待と展望をお聞きします。

●ルビーロマンに代表される本県のブランド食材を守り育てていくために、ブランド食材を守る条例制定などを含めて制度を創っていきたい

○気候の温暖化などを踏まえ、石川県の農産物の開発をどのように進めていく？

●農作物開発においては「高温対策」を重要な要素としていて、地下水を使ったハウス内の冷却や遮熱シートの活用といった栽培方法も研究している。

(ひとこと)

全国には、特定の酒米ファンが、その酒米で作った日本酒を楽しむイベントが開催されるなどしています。石川酒68号もそういった存在に育ってほしいと願うものです。

また、これまでの例を見ると、新しい農産物を県が開発して一般に普及するまで十数年かかっています。これから地球の温暖化などで気候が大きく変わることが予想されている中、十数年先の状況を見越した農産物開発は大変であろうと思います。ルビーロマンや加賀しずくなどのような素晴らしい石川県の農産物がこれからも続けて開発されることを願うものです。

クールシェアについて
県は6年続いている「いしかわクールシェア」という取組で、涼しいショッピングモールや公共施設にかけ消費電力を抑えることをすすめています。一方、国(環境省)では、涼しい外の施設に行こうだけでなく、自宅で行う取組や近所同士で行う取組、涼しい木陰や水辺に行こうといった取組もすすめています。

今年のように、猛暑となると外出しないで家にいた方がいいですし、ご近所同士で集まったり、自然の涼しいところに出かけるのを県としてすすめるのも有意義だと思います。

【〇質問と●答弁の要旨】
○来年度以降、「涼しい施設に出かける」以外の、国ですすめる3つの取組(左の図参照)を県として推進すればどうでしょうか？

●これらの3つの取組は、これから、石川県が進める「家庭版環境ISO」で分かりやすい事例を挙げながら自宅や近所での推進していくつもり。

(ひとこと)

左の図にある4つの取組を行えば、省エネだけでなくコミュニティ強化や観光など様々な効果が見込めるように思いますので、県として来年度以降、積極的に取り組んでほしいところです。

河川について

県では、国と連携して、再来年の融雪の時期までに県の主だった河川に溜った土砂を除く事業を行っています。それに関連して、前にも質問した邑知潟に溜った土砂の除去を訴えました。

また、大雨や河川の増水などの際、気象や河川の情報がメールで送られてくるサービスを県が行っていますが、それをもっと分かりやすいものにするように提案しました。

○邑知潟の堆積土砂の状況と今後の対応は？

●堆積土砂の状況を調査した結果、数箇所支障となる箇所が確認された。そこで工事をすすめたり調整を行っている。再来年の融雪の時期までに除去を目指す。

○石川県河川総合情報システムのメールサービスの配信内容について、改良すればどうでしょうか？

●現在、改良作業を進めているところで、来年の融雪の時期までに完了する予定。

(ひとこと)

河川に溜った土砂の除去は、防災効果も見込まれるので積極的にしてほしいです。邑知潟についても、地元から要望が出ているので、できるだけ早くしっかり対応してもらいたいと思います。

また、県が行っている気象や河川の情報をメールで配信するサービスも防災に役立つと思うので、分かりやすい形にしたいと思います。

目指せ 地域と行政のパートナー



昨年の越水被害を受けて、土のうを応急措置で積んでもらいました。その後、今年度、川に溜まった土砂を取って、堤防を高くしてもらえました。

昨年の大雨で、東の場の子浦川で堤防を川の水が越えた箇所がありました。その箇所に土のうを積んで応急処置してもらっていましたが、子浦川に溜まった土砂を取ってもらうのに合わせて堤防のかさ上げをしてもらいました。的場町会長や住民の方の声が届いた結果です。関係者の皆さん、ありがとうございました。



夏季巡回ラジオ体操

8月に、羽咋中学校で行われたラジオ体操の公開生放送に家族と参加してきました。

早朝から多くの市民が集まり盛況でした。改めて、子どもからお年寄りまでラジオ体操のようなものっていいですね。そして大勢で行うラジオ体操は壮観でした。



いしかわ環境フェア

毎年行われている環境フェアに今年も参加してきました。

県浄化槽協会のブース訪ねました。様々な環境技術や取組が紹介されていました。

☆この他にも、各種議員研修への参加や、様々な団体の期成同盟会総会、要望活動、宝浪漫マラソン開会式に参加しています。

地域のイベントや街中で本吉に会った時には、気軽にお声かけしてください。そういったご縁を大切にしていきたいと考えています。

議会以外でも活動しています。このような活動については、しっかりと実のある活動しているのか、住民としては関心のあることであろうかと思えます。これらの活動で見聞きしたことや勉強したことに ついては、ご要望があれば報告会などを行い、お伝えしたいと思えます。

そこまでかしまったものでなくても、本吉事務所『みやげ話』はいつでもさせていただけます。お気軽にお立ち寄りください。

本人不在の場合もごさいますので、本吉に直接お話しされた場合は、事前に事務所まで連絡していただくとうれしいです。

より良い地域を作るために皆さんの御意見をお願いいたします。



本吉きよと HP では、今回の内容もさらに詳しく、本人の思いもさらに熱く載っています！

アドレスはこちら → k-motoyoshi.jp

質問への要望や、県政に対する疑問がありましたら、本吉きよと事務所までご連絡ください。それらを調査し応えていくことを議員活動の基本としています。

本吉きよと事務所
〒925-0035
羽咋市本町コ 129-1
坂本ビル
TEL : 0767-22-0557
FAX : 0767-22-0655

